

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑長岡藤沢	管理者	小林 貴道		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	1人	1人	1人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画は職員に周知し、実施できているのか、毎月1回の多機能会議にて職員間で確認する。 運営推進会議ではご利用者様へ対応の事例を報告し、ご利用者様へどういった支援ができていのか理解いただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度よりも個別担当職員を中心にご利用者様個々に合った対応、支援行っていたが、より継続性を持って行う必要がある。 運営推進会議は書面開催だったが、ご利用者様の事例を通して報告を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 対面での運営推進会議が行えない中、毎回サービス評価総括表の「今回の改善計画」についての報告の書面をいただき、ご利用者への対応、支援の内容を知ることができたので良かった。 コロナで色々な所への参加は出来ないで結果を出すのは大変だと思います。 成果につながる取り組み結果とは、なかなかいかないようである。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別担当職員にて毎月、全ご利用者様の対応表を更新、共有し、統一した対応を徹底していく。 毎月1回カンファレンスの実施を徹底する、話し合った内容を全職員で共有し、取り組み結果を翌月のカンファレンスにて評価する。 カンファレンスの内容等を運営推進会議にて報告し、ご利用者様への取り組みを知っていただく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 月1回、フロアの整理整頓を行う。 運営推進会議の際は会議メンバーの皆様に事業所を見ていただき、評価いただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）担当職員を設け、毎月チェック項目に沿って取り組めた。 運営推進会議が書面開催にて、メンバーの皆様に実際に見て頂くことが無かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 時々事業所を訪問させていただく機会があるが、しつらえや環境に気になる点はなく、いつも整理整頓されている。 コロナ対策で訪問時は屋外のドアホンで呼び出しさせてもらっているが、すぐに職員が出てこれ、気持ちよく対応して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）担当職員を中心にチェック項目を更新しながら、清潔等を保っていく。 季節を感じて頂ける飾りつけ、作品作りをレクリエーションの一環としてご利用者様に作っていただき、飾る事で達成感、喜び等を感じて頂く。写真に撮り、運営推進会議にて見ていただく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事参加の際は、必ず多機能職員が参加し、地域の方との関わりを持つ。 年4回は苑の取り組み、様子がわかる広報誌を発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの影響があり、藤沢町内の公園草取り、側溝掃除の参加のみとなった。 広報誌を定期的に発行でき、地域、ご家族の皆様にご好評いただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の回覧は地域からも反響があり、事業所が身近に感じられるきっかけになったとの声があった。この取り組みは事業所と地域をつなげるツールのひとつになると思う。 町内の草取りや側溝掃除には積極的に参加されているが、それ以外は良く分らない。 コロナ禍でも可能な範囲で地域の活動（草取り、側溝掃除）に参加されており、事業所と地域との関わりを意識して行動されていることが感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の作成、発信を継続していく。 地域行事には可能な範囲で参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 個別担当職員にてアセスメントを行い、生活歴や地域資源を把握し、ケアプランに反映する。 年4回は苑の広報誌とは別に小規模多機能だけの取り組みや活動が写真を交えて具体的にわかるような広報誌をご家族様等に配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を考える機会をほぼ設けられなかった。カンファレンスでもご自宅、苑でのことに終始した。 広報誌はデイサービスセンター等も含め、藤沢全体の広報誌を発信した。その中で多機能としての取り組みを発信できた。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対応が長期化することが見込まれるため、コロナ禍だからすべて自粛…ではなく、どうすればできるか、どんなことならできるかという視点で考えることも大切だと思う。 生活歴や地域資源をどのようにケアプランに反映させているのか知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のカンファレンスでは、その方の地域資源とは何か、議題の一つとして取り上げ、話しあい、ケアに繋げる。 個別担当職員は、その方の生活歴、地域資源を把握する。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議には現場職員が1名必ず参加し、地域との関わりの重要性を理解してもらう。 運営推進会議では毎回、サービス評価項目 A～F についての進捗状況を報告し、意見をいただき改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 書面開催にて現場職員の参加はできなかった。 書面にて進捗状況をお伝え出来たが、提出の遅れや不備があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 書面によるだけだと、正確な把握が出来ない面があると思う（チェックする立場として）。 会議での意見は改善しようと努力されているのは解ります。 書面での開催だったが、毎回事業所の取り組みがわかりやすく説明されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にて書面開催継続が見込まれるため、会議の前に事業所から委員に聞きたいことや質問を資料に載せ、回答いただき今後活かしていく。 運営推進会議では毎回、サービス評価項目 A～F についての進捗状況を報告し、意見をいただき改善していく。 写真や動画等も活用してお伝えしていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の日程が決まり次第、事前に運営推進会議メンバーの皆様へ参加いただけるよう発信する。参加された場合は評価いただく。 町内の防災訓練に町内会長様と連絡を取り、職員参加させていただく。参加を通して苑として何が出来るか情報を得て、検討し、マニュアルに反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所から避難訓練担当メンバーを選定し、12月～毎月話し合いを行っている。より実践的、実情に合った避難マニュアルを徐々に作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練年間計画は4月の運営推進会議内で発信とあるが、参加していないので分らない。 避難訓練で気付いた課題について改善策を立てマニュアルに生かすなどしていただきたいと思います。 推進会議（今年度は資料）でも以前より詳しく取り組みを教えて頂けました。 事業所としてどこまでできるのか、どこに不安があるか明らかにし、近隣の地域と連携を図っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練担当メンバーにて毎月会議を行う。訓練の為の訓練ではなく、実際に起きた場合に全職員が自分の役割を認識し、すぐ動けるようなマニュアル（火災、水害等）を作成し、理解を深めていく。